

高槻市に当初予算と

施策に対する要望書を提出

12月1日、日本共産党市会議員団は濱田市長に19項目の重点要望とともに、7つの柱、99項目の市民要望からなる「2017年度高槻市当初予算と施策に対する要望書」を提出しました。

重点要望

くらしや福祉の充実を図ること

- ◎介護保険から総合事業に移行しても、従来通りのサービスが受けられるようにすること。
- ◎状況に応じて、総合事業から介護保険に移行できるようにすること。
- ◎行政サービスコーナーの全廃は行わないこと。
- ◎街かどデイハウスを継続させること。

子育て支援や教育の充実、子どもの安全対策を強めること

- ◎公立幼稚園、保育所の統廃合、民営化は拙速に実施しないこと。
- ◎児童虐待防止の総合的な対策強化のために学校、就学前施設など、幅広く取り組みを進めること。早期発見に取り組むこと。
- ◎子ども医療費助成の対象を高校卒業まで引き上げ

- ること。
- ◎35人学級の中学校1年生への拡大を検討すること。
- ◎子どもの貧困対策の担当部署を決め、対策を総合的に進めること。

災害対策を重視し、住み続けられるまちづくりを

- ◎特に浸水被害がひどい地域は雨水幹の整備を早急
- に実施すること。
- ◎学校のグラウンドなどへの、雨水貯留施設の整備に努めること。
- ◎新名神の工事に伴い、水資源や河川への影響について継続的に調査、監視すること。
- ◎高槻の良さを生かした自然エネルギーの拡大に取り組むこと。

国に対して要望すること

- ◎病気や介護の早期発見、予防と高齢者の健康づくりの事業を抜本的に拡充すること。
- ◎国民健康保険の広域化は行わないこと。国保へのペナルティはやめること。
- ◎介護保険をこれ以上改悪しないこと。必要なサービスが受けられるようにすること。

大阪府に対して要望すること

- ◎福祉4医療費助成制度の自己負担を増やさないこと。精神障がい者は2級まで対象にすること。
- ◎大阪府独自の学力テストはやめること。35人学級の拡大をすること。
- ◎豪雨などの災害から市民を守るために次の点を強化されたい。・女瀬川、芥川、松尾川、東松尾川の維持改修。・崖崩れなどの対策。

重度障がい者タクシー利用券について

わたしは、市長に重度障がい者タクシー利用券の所得を非課税世帯に限定したことを、もとの所得基準に戻すよう、要望しました。

子どもさん一人とも、支援学校に通っているお母さんから、この点についての要望がありました。「祖母も人工透析を受けていて、毎週タクシーで透析に通っている。子どもたちは歯が痛いということも言えないので、タクシーチケットがあるときは、月1回、口腔センターへ通院していたが、チケットがもらえなくなると、毎月の通院ができなくなりました」とのことです。

わたしは、非課税かどうかではなく、その家庭の実情をみて対応してほしいと訴えました。